

### テーマ① 今ある施設・空間を活かす

#### 活かすアイデア

##### 今ある施設の現状

- 北部総合福祉会館  
△活動内容が伝わってない、手狭
- 人権文化センター  
△大ホールが使えない
- 青少年センター  
△小学校低学年“だけ”が集まっている
- 小栗の湯  
○バンドや趣味の発表会開催
- あさひ保育園跡地  
△閉園後空き地のままである
- 市営住宅  
△老朽化住戸、空き家が増加
- 市営住宅下店舗  
△空き店舗が増加

- ◎地域住民に活動内容が伝わるようにする  
★オープンな外観にする／★活動スペースを広げる  
★年輪大学（和泉府中で月2開催）を幸でも開催 など
- ◎地域の多様な世代が集まれる場所にする  
★市民ホールを改修しコンサートを再び開催  
★青少年センターを未就学児～祖父母世代まで利用可能に  
★小栗の湯で寄席を開催 など
- ◎新たな機能をもたせる  
★他の保育園のサブ園庭とする  
★スケートボード場やテニスコートを整備 など
- ◎多様なライフスタイルを可能にする  
★DIY可能住戸（地元工務店活かす）／★シェアハウス化（若者・高齢者向け）／★二世帯住宅化（近居可能に）／★若者が就職後も住み続けられるように／★建替え後の余剰地に多様な収入層が住める住宅を整備 など
- ◎多様な利活用を誘導する  
★開業したい若者に一定期間無償で貸出す／★工房として貸出す／★モーニング・居酒屋サロン（地域内に朝夜集まれる場所が少ない）／★高齢者の集う拠点／★商店街の復活  
★すこやかリビングの魅力的な活動を増やす など

### テーマ② 地域資源・魅力を広く発信する

#### 地域内外から人が訪れたいまちにする

- ◎多様な人を受け入れる  
★民泊で外国人を誘致  
★地域伝承をアニメ化  
⇒団地の壁に描いてアートのまちに など
- ◎地域内に食事場所を増やす  
★団地近くに身近な商店欲しい  
★屋台、スーパーをつくる  
★だんじりで朝市を開催 など
- ◎地域の歴史資源をPRする  
★和泉弥生マツターワークの復活  
★だんじりをPR  
★盆踊りの改善  
⇒浴衣着替えスペースの用意  
⇒広い池上曽根史跡公園で開催 など
- ◎定期的な情報発信の機会を作る  
★放光池公園で月一マルシェを企画し地域情報発信の機会にする  
⇒幸小からマルシェまでの道を桜（紅葉）並木にし、地域内外の人が魅力を感じる空間に など

#### 地域の伝統を継承する

- ◎後継者を育てる  
★盆・盆・盆教室への参加ハードルを下げる  
⇒地域で三味線を所有し貸出す  
★盆踊り参加を学校へ呼びかけ など
- ◎既存のイベント同士が連携する  
★池上曽根史跡公園での大型イベントに地域の活動・イベントも出前で出店できるよう商工会と協力する など

#### ものづくり（特にアクセサリ産業）をPRしていく！

- ◎今ある取り組みを発展・拡大させる  
★幸小学校の「アクセサリづくり体験」の改善（デザイン→地域で評価→値付けしてサンパール前で販売）  
⇒販売期間を2時間→2日間 ⇒中・高校でも実施  
⇒全市でコンテスト開催 など
- ◎盛り上げる為の新たなアイデア  
★市営住宅活用したガラス工房を作る等、地域に小さな産業体験・販売スペースを増やす  
★ものづくりの強さを特徴にした学校にする  
★ガラス工芸の大会を開催 など

### よく使う施設

- 人権文化センター：研修や盆踊り、印刷目的で利用
- 小栗の湯：週3回程度利用

### あまり使わない施設

- 人権文化センター  
△自分が利用する機能以外に何が施設の中に入っているか分からない  
△市民文化ホールが利用停止のままにしておくのはまちのイメージを悪くする
- 池上曽根弥生情報館  
△場所が遠いためあまり利用しない  
△昔と比べイベントが減少  
△イベント時以外は駐車場が空いている
- 幸・王子町分館、団地内集会所  
△昔は自治会館の役割を果たしたが、施設の老朽化により利用頻度が低下  
△地域内に10ヶ所ある集会所のうち、幸・山手・和泉第一団地の集会所は選挙の投票所として利用頻度は高いが、他と差がある

その他アイデア ★空き住戸に留学生を呼び込む、シェアハウスを作り大学生を呼び込む など

### テーマ③ 公共施設の未来を考える

- 北部総合福祉会館：総会や老人クラブで利用
- 和泉診療所：高齢者の利用が多い

#### よくするアイデア

- ◎地域住民にもっと使ってもらえる工夫をする  
★施設を使いやすく（市民文化ホールの改修・建替え、飲食施設の設置、内装改善・設備の充実）  
★用途を限定せずに利用する／★イベントを増やす  
★防災時に使えるシェルターの設置 など
- ◎新たな使い方をアピールし積極的に利用する  
★フリーマーケットなど開催しているイベントの周知  
★公園内に野外音楽場を作って地域の目玉とする  
★空き地にシェルターを作る など
- ◎地域の実情を踏まえてあり方を検討する  
★利用住民の考えを聞く  
★集会所をうまく利用している他事例の見学会  
★自治会開催の地域イベント（子どもへのクリスマスプレゼントを高齢者が作成するイベントなど）  
★集会所に至る道の整備や駐車場の整備が必要 など

### テーマ④ 学校・教育環境を考える

#### 現状

- 子どもの居場所がない  
△グラウンドはボール遊び禁止、貸出に保護者必要など、子どもにとって使いづらい  
△中学生も居場所をなくしている
- 子育てに悩みを抱える親もいる  
△ママ同士悩みを話す場がない、集まりが少ない（共働きの家庭もあるため）  
△母子家庭が多く家庭での教育に難しさを感じている
- 子どもの減少による影響が出ている  
△集団活動の経験不足・切磋琢磨の機会が減った、部活が活発化しない  
△PTA活動が以前より大変
- 地域で子どもを支える活動もある  
○西教寺子ども食堂（てらこやハッピー）  
○青少年センターのどろんこ子ども会  
△子ども会等の活動母体組織がない

#### 解決するアイデア

- ◎子どもたちの「心のよりどころ」をつくる  
★ふらっと集まれる場所をつくる⇒空き家活用  
★青少年センターを使いやすくする  
⇒取組みを団地集会所に出前 など
- ◎子育てする親をサポートできる環境を整える  
★幼稚園～中学校の親同士が繋がる・話し合える場  
★すこやかリビングに子育て親も参加し多世代交流  
★てらこやハッピーを相談の場に など
- ◎地域に子どもを増やす為の「ウリ」を作る  
★バザー・祭りなどを子どもが中心に企画  
★留学生による語学教室、連動した学校教育  
★地域産業を学べるキャリア教育を伸ばす  
★地域の教育環境を本気で考える場を作る など
- ◎足りない部分を地域全体で助ける  
★PTAに地域も参加  
★地域での見守り・声掛けの実施 など